

研究課題名	機械学習を用いた人工膝関節置換術の術前・術中因子による術後成績の推計 (患者固有の術前因子を加味した至適手術手技推定アルゴリズムの確立)
当センターの研究責任者	整形外科 村津裕嗣
研究目的	機械学習を用い、人工膝関節置換術の術前・術中因子より術後成績の予測システムを作成し、患者固有の術前因子を加味した至適手術手技推定アルゴリズムを確立する事である。
利用する情報	<p>■対象 製鉄記念広畑病院（広畑病院）ならびに兵庫県立はりま姫路総合医療センター（はり姫）で人工膝関節置換術または人工股関節置換術を行った患者を対象とし、下記に示す倫理的配慮に基づく説明と研究への参加に同意を得た方を対象とした。</p> <p>■利用情報の内容 &lt;解析に用いるデータ詳細&gt; 術前、術後6か月、術後1年、術後3年、術後5年の外来受診時に取得</p> <p>①患者立脚型評価（患者自身に記入いただくアンケート調査）  (1)EQ-5D(EuroQol 5 dimensions)：健康関連QOLを測定するために開発された包括的な評価尺度  (2)Forgotten joint score：人工関節置換術後患者の手術した関節への意識の程度を評価できる評価尺度  (3)ロコモ25：日本整形外科学会が推奨するロコモティブシンドローム（運動器症候群）のロコモ度判定テスト  (4) Knee Society Score：患者の症状、期待、満足度、身体活動を評価</p> <p>②運動機能評価  (1)Standing time：開眼片脚立位保持時間  (2)3m Timed up and go test (TUG)：椅子から立ち上がり3m先でUターンして椅子まで戻り着座するまでの時間  (3) 10m歩行：10mの歩行時間を計測  (4)30-sec Chair Stand test (CS30)：30秒立ち上がりテスト  (5)Sit to Stand-5 (SS5)：5回立ち上がりタイム：d/eは同時測定する。</p>

	<p>③その他</p> <p>基礎情報（年齢・性別・身長・体重等） 放射線医学検査（レントゲン・CT計測データ） 血液生化学的検査 術中計測値（骨切り量、軟部組織バランス）</p> <p>■利用情報の該当期間</p> <p>2016.4.1～2028.3.31</p> <p>予定症例数：広畑病院症例 500例（2016.4.1から2023.4.30） に加え、はり姫症例（手術症例数予測 年間約100例（計：600例）の合計予測値；1100例）</p>
研究期間	2028.3.31
利用情報の他機関への提供の有無 (有の場合はその名称)	有 兵庫県立大学 先端医療工学研究所
個人情報の取り扱い	<p>倫理的配慮：</p> <p>①個人情報保護を遵守して研究を行うこと ②研究の参加の有無で診療における不利益が生じないこと ③研究参加を望まない時には中止できること</p> <p>上記を遵守して研究を行う。 本研究は事後的非介入研究でオプトアウトをホームページに公示する。</p>
企業等からの資金提供の有無 (有の場合はその名称)	なし
お問い合わせ先	<p>兵庫県立はりま姫路総合医療センター 総務部 診療サポート課 電話番号：079-289-5080</p>
備考	